

株式会社ホテルニューアワジ 太陽光発電事業(錦江町神川メガソーラー発電所)

■事業概要

本事業は、鹿児島県錦江町の未利用地に、敷地面積 39,947 m²、発電容量 2,057kw の発電所「鹿児島県肝属郡錦江町メガソーラー」を建設し、太陽光エネルギーを利用して発電した電気を供給するものである。

項目	内容
利子補給対象	太陽光発電設備への融資
所在地	鹿児島県肝属郡錦江町
用途地域	—
発電容量	2,057kw
工事予定期間	2018年10月~2019年11月
供用開始予定	2019年11月

■立地環境

事業予定地は、鹿児島県錦江町にある放棄畑地及び養豚場跡地であり、現在は未利用地となっている。養豚場は 2013 年に事業を終了したが建物は残存しており、放棄畑地の一部は雑草が刈り取られているが、その他は雑草が生い茂っている。事業予定地の周辺は基本的に森林であり、事業予定地から最も近い住宅は北西方向 300m、公民館は東方向 600m 程の位置にある。

■実施した環境影響調査

環境関連の一般に公表されている既存文献資料調査、並びに専門技術者による現地踏査及び地元関係者へのヒアリングを実施している。

■関係者（地域住民など）との情報交流の状況

環境配慮計画書の概要版を事業者のホームページに公表するとともに、住民説明会も開催し、意見を受け付けた。

■事業者が作成した環境配慮の取組計画（例）

- 供用中の配慮：使用済みとなった太陽光発電設備については、リユース・リサイクル・適正処分を行うよう心掛ける。
- 建設工事中の配慮：工事用車両の走行による影響対策として通学路を避けるよう車両走行ルートを変更、可能な限り低燃費車・低騒音車を使用、不必要なアイドリング・空吹かしをやめる。廃棄物については、発生残土は全て敷地内に保管し、解体廃棄物などリサイクル可能なものは可能な限りリサイクルし、廃棄物は適切に産業廃棄物として場外搬出処分を行う。



環境配慮に関するコメント

泥水流出防止のために鉄鋼スラグを敷設するとともに、工事当初に調整池を設置して泥水及び鉄鋼スラグの流出を防止する計画としていること、太陽光パネルの反射光について影響が無いことを定量的に予測・評価していることは評価できる。

一方、泥水流出防止のために敷設する鉄鋼スラグについては、アルカリ性排水への配慮をお願いしたい。また、フォローアップにあたっては、調整池での流出鉄鋼スラグの回収・処分の状況や水の放流状況など、調整池の管理が適切に行われているかについても確認をお願いしたい。さらに、事業予定地周辺には貴重な動植物が生息・生育している可能性があるため、工事後にも動植物のモニタリング調査を実施し、貴重な動植物が確認された場合には適切な保全対策を講じるとともに、そのフォローアップをお願いしたい。